

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2026年11月 検針分)

2026年6月～2026年8月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2026年11月 検針分の単位料金は、2026年10月 検針分 に比べて、1m³(45MJ)当り
6.37 円(消費税込)、標準家庭(26m³)では月額 166 円の調整を行うこととなりました。

●平均原料価格

	単位	2026年5月 ～ 2026年7月	2026年6月 ～ 2026年8月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	100,400	106,660	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	123,050	117,090	
平均原料価格	円/トン	101,970	107,640	46,100

平均原料価格=LNG平均価格×0.9541+LPG平均価格×0.0502

(10円未満端数四捨五入)

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \quad (\text{平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき}) \\
 &= 107,640 - 46,100 = 61,500 \text{ 円/トン} \\
 &\quad (100円未満端数切捨て)
 \end{aligned}$$

●調整単位料金の算定

平均原料価格が基準平均原料価格以上のとき

$$\text{調整単位料金} = (\text{基準単位料金} + 0.084 \times \text{原料価格変動額} \div 100 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}))$$

(小数点第3位以下の端数切捨て)

●一般ガス供給約款料金における調整単位料金

(消費税込)

	単位	(A) 基準単位料金	2026年11月 検針分 (B) 調整単位料金	調整額 (B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	222.65	279.47	56.82
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	163.59	220.41	56.82

	単位	2026年10月 (A) ※1	2026年11月 (B)	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	260.20	279.47	19.27
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	201.14	220.41	19.27

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	2026年10月 (A) ※1	2026年11月 (B)	影響額 (B)-(A)
26	7,400	7,901	501

計算式・・・基本料金(税込)+調整単位料金(税込)×使用量 (1円未満の端数は切り捨て)

※1: 政府支援を踏まえた14.0円/m³(税込)の値引きがされています。詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金支援」をご覧ください。(https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp)